

福島県PTA連合会



# PTA 福島 第122号

県P連活動スローガン **子と親が共に育つPTA活動を**

編集：調査広報委員会 印刷：株式会社第一印刷

特集

## 「第71回 福島県PTA研究大会二本松大会」報告

### 県PTA連合会会長あいさつ



県PTA連合会会長  
鈴木崇史

自然に恵まれ、下町情緒あふれる城下町である二本松市において、第71回福島県PTA研究大会二本松大会が「ほんとの空のもと 変化の激しい時代を生きる子どもたちに明るい未来を！～人と人とのつながり 伝統文化を大切に～」の主題のもと、県内各地より会員の皆様にご参加いただき、無事開催することができました。

かねてから課題が山積しているPTA活動ですが、コロナ禍と言われるこの3年間で保護者間や県内会員同士のつながりの希薄化、過去の行事のノウハウ継承等、新たな課題も浮かび上がってきました。皆悩み模索しながら活動しているこの状況の中、県内各地から会員が一堂に集い、研究協議や情報交換を通して活動や子育てのヒントを得ることはとて

も有意義なことであると考えます。何かと大変なことも多いPTA活動ですが、今後も研修会や情報発信等を通して会員の皆様がより活動しやすくなるよう努めてまいりますので、引き続きご協力の程よろしくをお願いいたします。全ては子どもたちのために。

最後に、二本松大会開催にあたりご尽力されました、出川正人実行委員長をはじめ実行委員会の皆さまに心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



県P連合会旗引き渡し

### 大会実行委員長あいさつ



実行委員長・県P副会長  
(安達P連会長) 出川正人

11月12日に第71回福島県PTA研究大会二本松大会が行われました。

まずは大会に参加していただいた会員の皆様、大会実行にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。当日は城山体育館・二本松一中を会場に県内各地から約600名が集まり、研究討議を通して様々なことを学びました。

本大会の主題は「変化の激しい時代を生きる子どもたちに明るい未来を～人と人とのつながり・伝統文化を大切に～」としました。大会宣言でもありましたが、現状、子どもたちは天災や感染症、戦争など世の中が劇的に変化する世界の中で生活しており、今後世の中がどうなるかわからない中生活しております。また、少子化やネット依存、不登校な

ど学校には様々な問題が出てきております。今回の大会では様々な問題に対処するべく専門の講師を迎え解決の糸口となるような講演をしていただきました。参加していただいた皆様が各学校に持ち帰って今後の活動の一助になれば幸いです。

終わりに、本大会は安達郡各校のPTAにご協力を頂き、準備期間が1年以上かかりました。当日も滞りなく開始から終了までスムーズに開催できたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### 目次

「福島県PTA連合会第71回福島県PTA研究大会二本松大会」報告 「記念講演会」レポート	P1,2
家庭教育セミナーレポート	P2
東北ブロック研究大会レポート	P3
表彰受賞	P4
安全互助会	P4

# 第71回 福島県PTA研究大会「記念講演会」

◇講師 一色 采子(大山 采子)氏

◇公演 「演じることは生きること」



県P調査広報委員長  
突戸邦大

第71回福島県PTA研究大会二本松大会が、高村光太郎の詩集「智恵子抄」で詠われた安達太良山で知られる二本松の城山総合体育館に於いて「本当の空のもと、変化の激しい時代を生きる子どもたちに明るい未来を!~人とのつながり伝統文化を大切に」を掲げ、約600人の参加者のもと開催されました。

記念講演では日本画家の大山忠作氏のご息女である一色采子氏に「演じることは生きる事」の演題で講演をいただきました。

絵を描くことに生涯を捧げた父と共に過ごした幼少期、厳しくも愛情をもって育ててくれた母との思い出、そうした環境の中ではぐくまれた女優への想い。様々な体験をした中で得た自分の生きがい。実際の経験やエピソードに基づいた具体的なお話はどれも興味深いものでした。

描く事で自分の生涯を全うした父。今度は演じることで父と同じように生きている一色氏、自分の心掛けていた事を信念を持って大切に生きる一色氏の情熱が伝わってきました。

そうした事から、自分の人生を生きる事の重要性を再認識し、自分自身を表現し続ける事の大切さを実感する事ができました。

そうした事から、自分の人生を生きる事の重要性を再認識し、自分自身を表現し続ける事の大切さを実感する事ができました。

そうした事から、自分の人生を生きる事の重要性を再認識し、自分自身を表現し続ける事の大切さを実感する事ができました。



## 第71回 福島県PTA研究大会二本松大会 分科会一覧

講師の皆様、そして実行委員会の皆様、素晴らしい大会、ありがとうございました。

分科会	区分	研究形式	分科会テーマ	会場・人数	発表者等
第一分科会	地域連携	発表 協議 指導助言	コミュニティ・スクールと地域連携におけるPTAの関わりはどうか	城山総合体育館 300人	国見町教育委員会教育総務課 管理主事 阿部 央 氏  いわき市立田人小・中学校PTA会長 蛭田 友子 氏  文部科学省コミュニティ・スクールマイスター ふくしま学校と地域の未来研究所代表 安齋 宏之 氏
第二分科会	家庭教育 健康教育	講話	子どもの言動を捉え拓く家庭の在り方 ~患者との医療面接から見えてくるもの~	城山第二体育館 150人	銀の森治療院院長 渡邊 健 氏
第三分科会	健全育成	講話 (オンライン)	メディア社会における親子のコミュニケーションの在り方	二本松市立 二本松第一中学校 150人	精神保健福祉士・公認心理士 ASK認定 依存症予防教育アドバイザー 増田 貴久 氏



## 令和5年度 第29回 福島県PTA連合会「家庭教育セミナー」レポート



県P研修委員長  
草野寛喜

令和5年9月15日「現代の日本PTAとしてやるべきこと 親としてやるべきこと」をテーマに安藤大作先生(株式会社安藤塾代表取締役、日本民間教育協議会 会長)を講師にお迎えし、家庭教育セミナーを開催しました。

目まぐるしく変化する社会情勢のなかPTAの存在意義や必要性が問われる現代、「子どもたちのために何が出来るだろう?PTAとして親としてもっと何か出来るのではないか?」と日々悶々とされている方が多いのではないのでしょうか。

私もそのひとりとして参加し、日本の子どもたちの置かれている現状を知り衝撃をうけました。世界の子どもと比較し日本の子どもの自己肯定感が低いこと、若年層の死因で日本は自殺が最多ということなど、様々な問題や課題を知ることができました。

子どもたちが将来に希望がもてる日本になるよう、我々PTAが組織として声をあげ「世論を形成」し地域や行政へ働きかけることがPTAの役割のひとつである。と非常に熱い講演を賜りました。



# 第71回日本PTA全国研究大会 広島大会レポート

令和5年8月25日(金)・26日(土)

全国大会は、広島県立総合体育館をメイン会場とし、広島県内各地で9つの分科会が開催されました。本県からは、29名が参加しました。

全国大会に参加して **変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を!**  
～見つけ考え かわろうや ぶち楽しいで!!～ 広島から全国へ



県PTA連合会  
監事 宮川天馬

2023年8月25日～26日、日本PTA全国研究大会広島大会へ参加しました。私自身、日本PTA全国大会への参加は初めてであり、大会のテーマが「変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を!」という事で、自身の学校の課題でもある「地域連携」について学びたいと参加しました。

基調講演では「地域で学びの場を創ることの意義」と「社会に開かれた教育課程」から地域と連携・

協働した学校教育の実現、実践発表では「地域の中に学校を、学校の中に地域を」というテーマでキャリア教育の推進に地域企業が関わり、中長期的な取組みが紹介され、記念講演においても、脳科学という分野から子どもたちの感情・感性教育へのアプローチ手法を実体験を含め聴くことができ、大変貴重な経験でした。

今回の研究大会での学びを、時代の変化に合わせた、子どもたちのためのPTA活動の推進に繋げていきたいと思います。

# 第55回日本PTA東北ブロック 研究大会「富谷黒川大会」レポート

令和5年10月14日(金)・27日(土)

東北大会は、宮城県富谷市、黒川郡内の大和町、大郷町、大衡村で開催されました。昨年度は、山形での全国大会と同時開催でしたので、実質的には5年ぶりの現地開催の東北大会でした。本県からは74名が参加しました。

記念公演 ◇講師 高橋 礼華 (元バドミントン選手) 氏 ◇演題「夢を実現させる3つの方法」



県PTA連合会  
副会長 橋本洋介

リオ五輪金メダリスト高橋礼華氏が登壇され、自らの意思で小学卒業後に奈良の親元を離れ仙台の中学校へ進み、バドミントンタカマツペアで金メダルへの夢を叶えた軌跡をご講演されました。

高橋さんは「この人みたいなプレーがしたい」と思う選手がいる環境に身を置き真似ることにより、良いイメージを膨らませご自身の

競技力を向上させる原点としたそうです。環境から「あたりまえ」の水準向上と、練習の量よりも質を重視し辛い練習にも耐えることができ、「本当の夢」に向き合い金メダルを取ることができたそうです。最も印象的だったのはメダル授与式の際、銀メダルの選手の前ではしゃぐことをしなかった事。競技人生での負けた時を思い出し金メダルの重さを噛み締めたそうです。現在は一児の母として子育てに、メダリストとして後進育成にご尽力されているそうです。

# 第3分科会パネラー発表報告

会場：大和町ふれあい文化創造センター



県PTA連合会  
副会長 野木和洋

第55回日本PTA東北ブロック研究大会分科会パネルディスカッション。コーディネーター廣瀬隆人さんのおかげでコンパクトながら中身の濃いものに出れたと思います。

よい学校はよい地域にしか存在しない。地域の良質な大人と出会うことが子どもの健全育成と担い手育成に有効。地域連携は新しいことをするのではなく今ある事業を丁寧に実践することからはじめる。地域の行事や祭りは人と人を繋げる接着剤。インドでは「人に

迷惑をかけて生きているのだから、人のことも許してあげなさい」と教えている。大人の繋がりを子どもに見せつけることがPTAの役割等々持ち帰って実践に繋がる言葉をたくさんいただきました。

いわき市民の正装であるサッカーJ2いわきFCユニフォームで登壇しシビックプライドの話もさせていただきました!ご参加いただいた皆様ありがとうございます。



晴れの表彰おめでとうございます (敬称略・順不同)



- 1.福島県PTA連合会 会長表彰
  - ◇感謝状受賞 36名
    - 平塚康晴 (前 福島県PTA連合会会長) 他35名
  - ◇団体 18団体
    - 二本松市立二本松北小学校父母と教師の会 他17団体
  - ◇個人 72名
    - 緑川喜輝 (前 石川郡連合PTA副会長) 他71名
- 2.日本PTA全国協議会 会長表彰
  - ◇団体
    - 伊達市立桃陵中学校父母と教師の会
    - いわき市立植田小学校父母と教師の会
  - ◇個人
    - 平塚康晴 (令和2年度～令和4年度 会長)
    - 安藤正希 (令和3年度監事、令和4年度～ 副会長)
    - 張崎貴裕 (令和4年度～ 副会長)
  - ◇特別表彰 (個人)
    - 丹 孝平 (平成30年度～ 理事) 他14名
- 3.東北ブロックPTA協議会 会長表彰
  - ◇団体
    - 福島市立飯野中学校父母と教師の会
    - 二本松市立原瀬小学校PTA

- 郡山市立日和田小学校父母と教師の会
- 郡山市立金透小学校父母と先生の会
- ◇個人
  - 横山貴英 (令和4年度 副会長)
  - 渡部光毅 (令和4年度 副会長)
  - 吉田香織 (令和4年度 研修委員代表理事)
  - 佐藤裕子 (令和4年度 研修委員代表理事)
  - 小川洋太郎 (令和4年度 評議員、理事、白河大会事務局長)
  - 中村 徹 (令和2年度～令和4年度 総務部長)
  - 吉川信夫 (令和3年度～令和4年度 庶務部長)
  - 菅野 靖 (令和4年度 研修部長)
- 4.日本PTA第43回全国小・中学校PTA広報紙コンクール  
レイアウト賞 福島市立飯野中学校父母と教師の会  
「KOMOREBI」 (※7年連続全国入賞)
- 5.優良PTA文部科学大臣表彰
  - 郡山市立芳山小学校父母と先生の会
  - 喜多方市立堂島小学校父母と教師の会
- 6.PTA活動振興功労者文部科学大臣表彰
  - 誉田憲孝 (元 福島県PTA連合会会長)
  - 成澤勝蔵 (元 福島県PTA連合会会長)
- 7. (参考) 福島県教育・文化関係表彰功績顕著な団体
  - 喜多方市立松山小学校父母と教師の会
  - いわき市立上遠野小学校PTA

編集後記

令和5年も年の瀬が近づいてきました。皆さまには、常日頃より本会に対し温かいご支援・ご協力をいただいておりますこと改めて感謝申し上げます。令和6年も、子どもの健やかな成長のため力を合わせていきましょう。

安全互助会のお知らせ

令和6年度PTA安全互助会加入の案内文書と「事務取扱概要」を市町村教育委員会の文書箱経由で配布いたします。令和6年度加入申込書が変更になります。(Excel版・手書き版の2種類) Excel版は令和6年1月上旬に学校長宛メールにてお送りします。手書き版は

福島県PTA連合会HPよりダウンロードしてください。令和6年度4月1日より事故報告の方法が変更になります。詳細は「事務取扱概要」冊子にて変更内容の確認をお願いします。

またHPに掲載しておりました各学校の「会員番号」「学校番号」は学校長様宛に同文書で通知します。HPへの掲載はしませんので、保管の程よろしく願います。

福島県PTA安全互助会補償制度 (児童・生徒、PTA会員傷害・賠償補償制度)

- 児童・生徒のケガや「熱中症」「食中毒」による入院・通院が補償対象となります。
  - 児童・生徒の賠償事故も補償対象となります。
- 支払事例：自転車走行中、歩行者にぶつかりケガをさせた。



※ I・IIコース加入の場合 1億円まで補償。



詳しくは、福島県 PTA 連合会 HP をご覧ください。

ふくしまっ子子ども総合補償制度 (小・中学生総合補償制度)

- 日常生活個人賠償責任補償では示談交渉サービスをご利用いただけます。
- 学校等から貸与されるタブレットやノートパソコンも補償の対象となります。



請求漏れはございませんか？